

# FUKU! SOBA

No.2

## 福井県産ソバの『高単収』を目指して!!

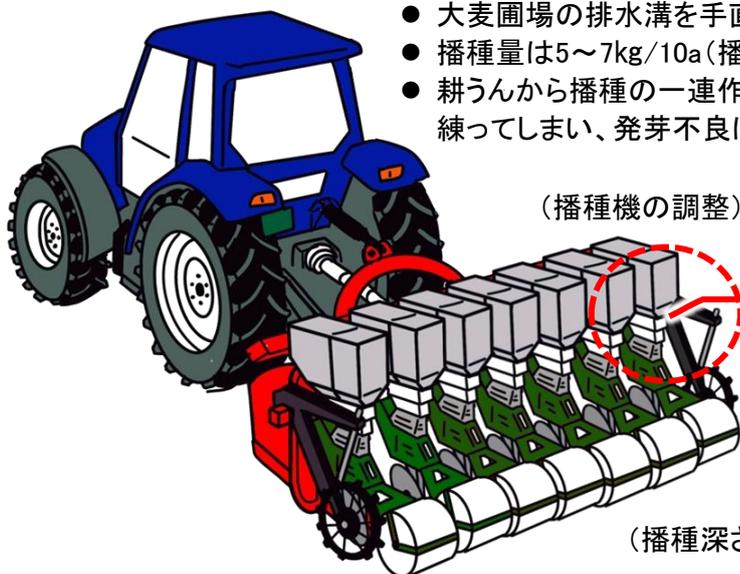
7月は高温の日が続いています。ソバの早播き(7月下旬播き)圃場は、開花期の高温により受粉不良やアブラムシの被害を受けやすくなるため、適期播種(8月上旬～中旬)に努めましょう。

県内産の玄ソバに帰化アサガオの種子が混入すると、ソバと同色・同形状であるため、調整時に除去ができず実需者からのクレームにつながります。ソバ圃場内だけでなく、水稻の畦畔も含めて除草を徹底してください。

### 1. 播種作業

#### ～適期播種と排水溝の手直し(排水対策)～

- 8月上～中旬の播種に備え、早期に圃場の排水対策を開始する。
- 大麦圃場の排水溝を手直し、圃場に額縁排水溝を設置(深さは25～30cm)
- 播種量は5～7kg/10a(播種日が遅くなる場合は多めにする)
- 耕うんから播種の一連作業は同一日に行う。(耕うん後に降雨にあうと土を練ってしまい、発芽不良につながる)



(播種機の調整)

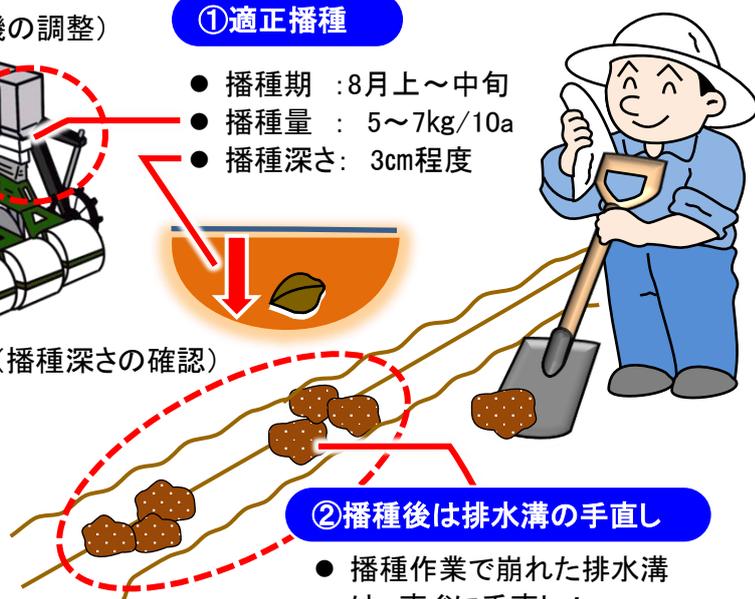
#### ①適正播種

- 播種期 : 8月上～中旬
- 播種量 : 5～7kg/10a
- 播種深さ: 3cm程度



(播種深さの確認)

- ソバは湿害にきわめて弱い作物。特に発芽時や生育初期の湿害は、収量に著しい悪影響を及ぼす。播種後は排水対策を徹底する。



#### ②播種後は排水溝の手直し

- 播種作業で崩れた排水溝は、直ぐに手直し!

### 2. 帰化アサガオ対策

#### 帰化アサガオ類を減らすための畦畔除草例



#### 【5～7月】

カメムシ対策の草刈りと併せて刈払い。できるだけ地際から刈払うことで再生の抑制を図る。

#### 【8月上旬】

雑草の草丈30cm未満の時期にザクサ液剤を散布。カーメックス顆粒水和剤を混用すると、その後の発生が抑えられる。

#### 【9月中旬】

結実する前にザクサ液剤またはラウンドアップマックスロードを散布。

